

胸部X線検査ってなあに？

胸部X線検査は、気胸や肺炎、肺がんなど肺の病変を発見するための検査です。

肺がんは男性では4番目に多くおよそ16人に1人、女性では3番目に多く40人に1人になると推測されています。また、死亡者数では肺がんが1番多いと言われています。

喫煙者は非喫煙者と比較して男性では4.4倍、女性では2.8倍リスクが上がるといわれています。また、喫煙を始めた年齢が若く、喫煙量が多いほどリスクは上がるといわれています。受動喫煙も肺がんになるリスクを2~3割程度高めるといわれています。



胸部X線検査では、撮影台の前に立っていただき、合図に合わせて息を吸って止めていただきます。その際、しっかりと息を吸っていただくことで肺が広く描出されます。ご協力をお願いいたします。

立つことが困難な方は、椅子に座って撮影することも可能ですのでお申し付けください。



ネックレス、ブラジャー、シップ等の金属類は外していただき、検査着又は無地のTシャツで撮影します。



妊娠中、妊娠の可能性のある方、持続血糖測定器(CGM)をつけている方は受診できません。ご了承ください。